

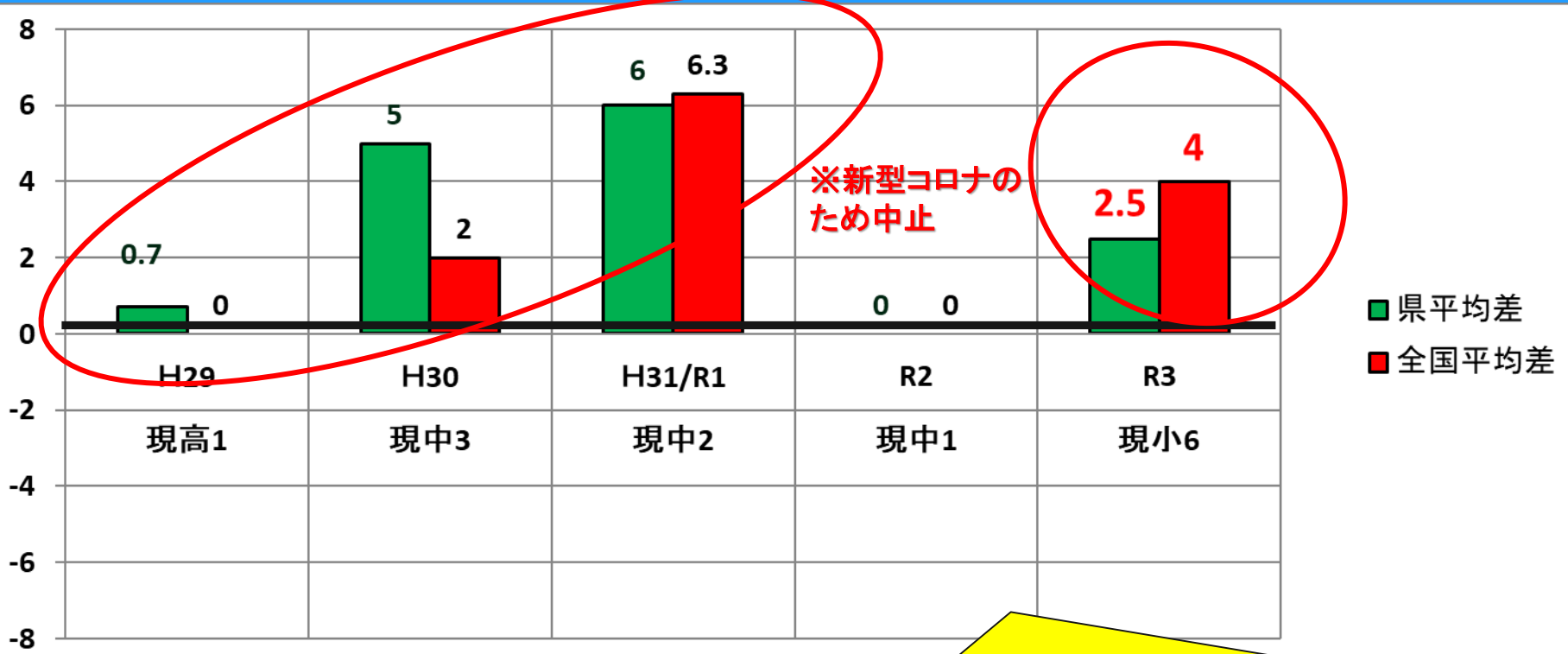
**R3年度  
全国学テ結果分析・  
考察**

**【平均正答率等】**

**【本校】**

**全国・県との比較**

# 全国学テ 県・全国平均値との差の推移(過去5年間)



本校	年度	県比	全国比	差
	H29年度	+0.7p	±0p	差
	H30年度	+5.0p	+2.0p	差
	H31/R1年度	+6.0p	+6.3p	差
	R2年度	中止	中止	
	R3年度	+2.5p	+4.0	差

**R3年度  
全国学テ質問紙  
調査結果分析**

**【家庭での学習時間】**

**【本校】**

**全国・県との比較**

# H29全国学力・学習状況調査結果の比較

## 【小学校】全国学力・学習状況調査結果

### (1) 月～金曜日の1日当たりの家庭での学習時間

#### 【全教科】

集 団	時 間	3h以上	3h未満 2h以上	2h未満 1h以上	1h未満 30分以上	30分 ～	全くしない
本 校 (104名)	H29	10.6	16.3	33.7	21.2	11.5	6.7
		60.6			39.4		
鹿児島県 (公立)	H29	8.5	17.5	44.0	20.4	6.2	3.3
		70.0			30.0		
全 国 (公立)	H29	11.9	15.2	37.3	24.3	8.4	2.9
		64.4			35.6		

結果 県比: +0.7p 全国比: ±0p

本校は、月曜日から金曜日までの家庭学習時間(1時間以上)が県を9.4%、全国を3.8%下回っている。平日の家庭学習平均時間「1h未満」が39.4%いる。

# H30全国学力・学習状況調査結果の比較

## 【小学校】全国学力・学習状況調査結果

### (1) 月～金曜日の1日当たりの家庭での学習時間

#### 【全教科】

集団	時間	3h以上	3h未満 2h以上	2h未満 1h以上	1h未満 30分以上	30分未満 ～	全くしない
本校 (83名)	H30	13.3	13.3	33.7	30.1	7.2	2.4
		60.3			39.7		
鹿児島県 (公立)	H30	8.9	18.7	45.0	20.0	4.9	2.3
		72.8			27.2		
全国 (公立)	H30	12.5	16.8	36.9	23.8	7.4	2.5
		66.3			33.7		

**結果** 県比: +5p 全国比: +2p

本校は、月曜日から金曜日までの家庭学習時間(1時間以上)が県を12.5%下回っている。全国を6.0%下回っている。平日の家庭学習時間「1h未満」が39.7%いる。

# H31/R1全国学力・学習状況調査結果の比較

## 【小学校】全国学力・学習状況調査結果

### (1) 月～金曜日の1日当たりの家庭での学習時間

#### 【全教科】

集団	時間	3h以上	3h未満 2h以上	2h未満 1h以上	1h未満 30分以上	30分未満 ～	全くしない
本校 (131名)	R1	9.2	15.3	50.4	17.6	5.3	2.3
		74.9		25.2			
鹿児島県 (公立)	R1	8.0	18.8	44.7	21.3	5.2	2.0
		71.5		28.5			
全国 (公立)	R1	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3
		66.1		34.0			

**結果** H31/R1年度 県比: +6.0p 全国比: +6.3p 差

本校は、月曜日から金曜日までの家庭学習時間(1時間以上)が県を3.4%上回っている。全国を8.8%上回っている。「1h以上」が前年度よりも14.6p増加した。

# R3全国学力・学習状況調査結果の比較

## 【小学校】全国学力・学習状況調査結果

### (1) 月～金曜日の1日当たりの家庭での学習時間

#### 【全教科】

集団	時間	3h以上	3h未満 2h以上	2h未満 1h以上	1h未満 30分以上	30分未満 ～	全くしない
本校 (104名)	R3	9.5	15.4	36.5	27.9	4.8	5.8
		61.4			38.5		
鹿児島県 (公立)	R3	7.9	17.4	42.3	20.9	7.2	4.2
		67.6			32.3		
全国 (公立)	R3	11.6	15.3	35.6	24.5	9.5	3.5
		62.5			37.5		

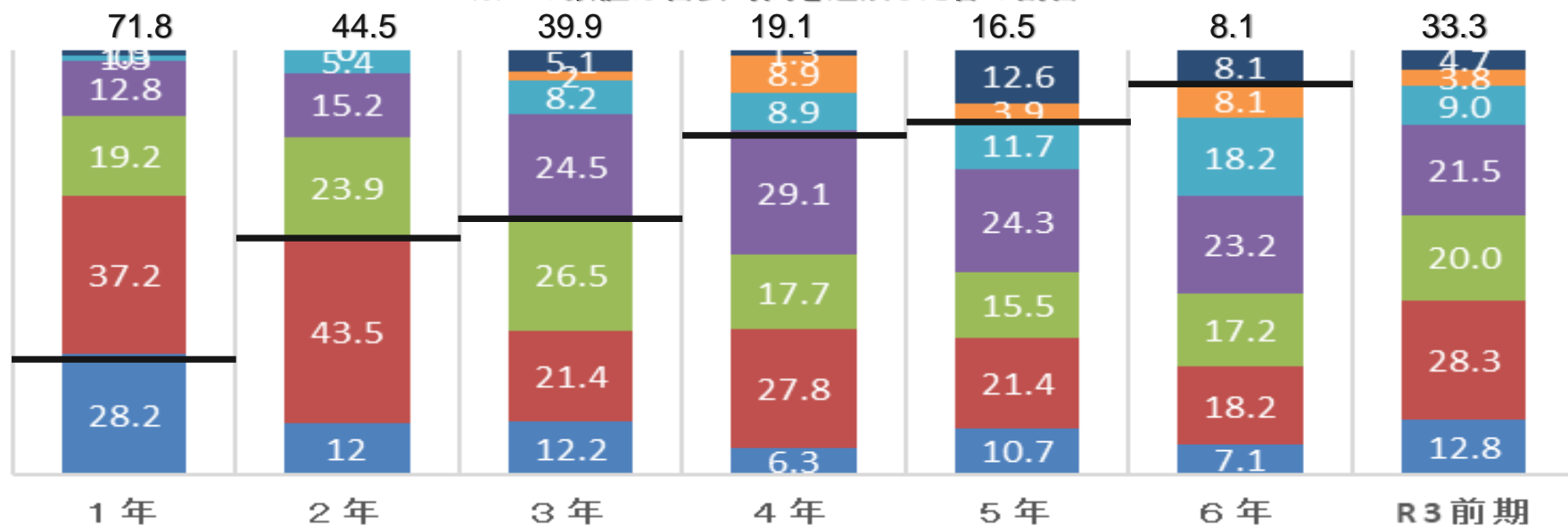
**結果** R3年度 県比: +2.5p 全国比: +4.0p 差

本校は、家庭学習時間(1時間以上)が県平均を6.2%、全国平均を1.1%下回っている。「1h以上の家庭学習時間」の割合がR1年度よりも13.5p減少している。※テスト結果は県・全国平均を上回っているが、家庭学習時間は下回っている。家庭学習時間が伸びると学力はもっと伸びる可能性がある。

# 令和3年度前期の学校評価（保護者から）

## 15 平日の家庭学習時間

- 1 30分未満
  - 2 30分以上～40分未満
  - 3 40分以上～50分未満
  - 4 50分以上～60分未満
  - 5 60分以上～70分未満
  - 6 70分以上～80分未満
  - 7 80分以上～
- ※この数値は目安時間を達成した者の割合



【本校の家庭学習の目安時間】 **学年×10+20分(読書時間除く)**となっています。

**1年生:30分、2年生:40分、3年生:50分、4年生:60分、5年生:70分、6年生:80分**

各学年で横線を引いた部分が家庭学習の目安時間に当たるところです。横線から上の部分が目安時間をクリアしている児童の割合になります。学年が上がるにつれて目安時間を達成している児童の割合が少なくなっていることが分かります。全国学テの結果と同様に本校は、県・全国の家庭学習平均時間と比較して少ないことが裏付けられています。



令和3年度

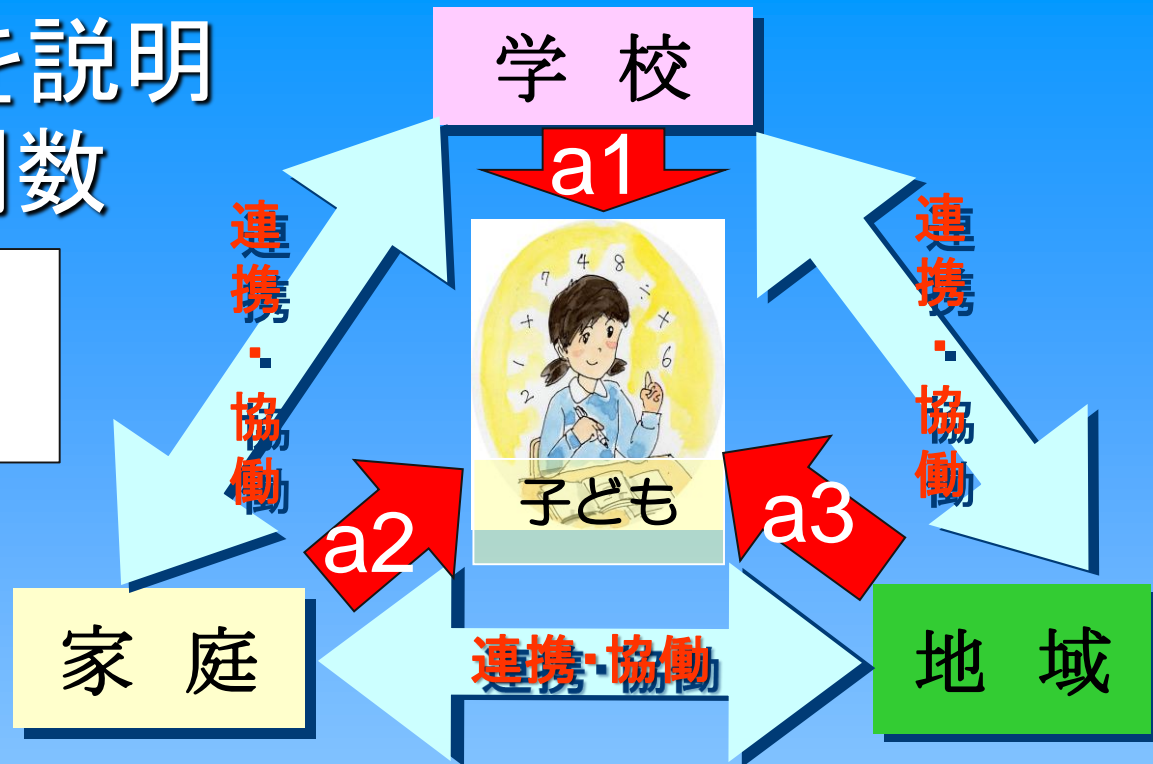
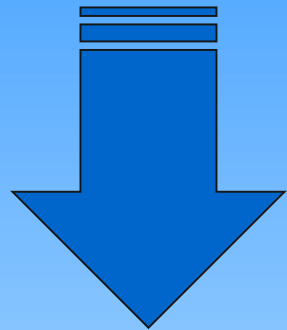
「チーム星峯西小」で

取り組む

学力向上の具体策

# 教育活動の成果を説明 するための一次関数

$$y = at + b$$



**y: 今年度の教育活動の成果**

**a: (a1学校 + a2家庭 + a3地域) の教育力**

**t: (t1学校 + t2家庭 + t3地域) で関わる時間等**

**b: 前年度までの教育活動の成果**

質  
×  
量

# チーム星峯西で取り組む具体策

## 【学校の取組】

- ① **授業改善**（授業づくりの段階での事前指導）  
※教師主導、教え込み型授業からの脱却
- ② **学力向上委員会**の定例化（月1回）※見届け
- ③ TT, 少人数指導などによるきめ細やかな**学力補充指導体制**の構築

## 【家庭・地域との連携】

- ④ 全学年で**家庭学習ノート**を活用した積上げ学習
- ⑤ PTA共通実践事項として**ノーメディアタイム**と**早寝早起き朝ご飯**の実践化
- ⑥ スポ少・地域スポーツ活動と**家庭学習**の両立

# 【子ども・教科・学校レベル】学習課題の重点の置き方

子ども・各教科・学校全体の平均通過率(上位層:平均以上、中位層:平均並、下位層:平均以下)に応じた学習課題をどのように与えたらよいか？

	【基礎・基本】 読み・書き・計算等の 知識, 理解, 技能等 A問題(主に知識)	【応用力, 活用力】 自ら考える力 思考・判断・表現 B問題(主に活用)	【その他】 家庭・地域との連携 学校の教育環境等
上位層 子ども・ 教科・ 学校	○	◎ 重点	◎家庭学習ノートの活用 ◎スポ少放課後教室 ◎部活動との両立 ・志学教室 ・英検受検 ・夏休み学習教室
中位層 子ども・ 教科・ 学校	◎ 重点	○	◎図書室解放 ※家庭学習の課題も 個に応じて行う。
下位層 子ども・ 教科・ 学校	◎ 重点	※どれだけ個別最適 化された学習課題を 与えられるか。	・共通課題:基礎問題 ・個別課題:応用問題 自主課題

# ③家庭学習ノートの活用 (質・量の向上策)

※基礎学力(漢字・単語・日記・計算等)

の確実な定着に重点を置いた取組

- ・家庭学習の習慣化
- ・確実な見届け

# 全学年で取り組む自作の家庭学習ノート





## 4 学力向上に関する有効な取組事例 ～校長としての役割～

**家庭学習推移データ**

**(家庭学習時間及び  
目安時間達成率等)**

→ **家庭学習の習慣化**

→ **確実な見届け**

# ノーメディアタイムの取組(○中, ○小も)

## ○○小・中学校家庭学習の目安時間

○学年 × 10 + 30分 (読書除く)

1年生 40分 + 20分      2年生 50分 + 10分

3年生 60分              4年生 70分

5年生 80分              6年生 90分

※中1: 100分    中2: 110分    中3: 120分

関連

家庭学習60・90(ろくまる・きゅうまる)運動……県P連の取組



# 家庭との連携

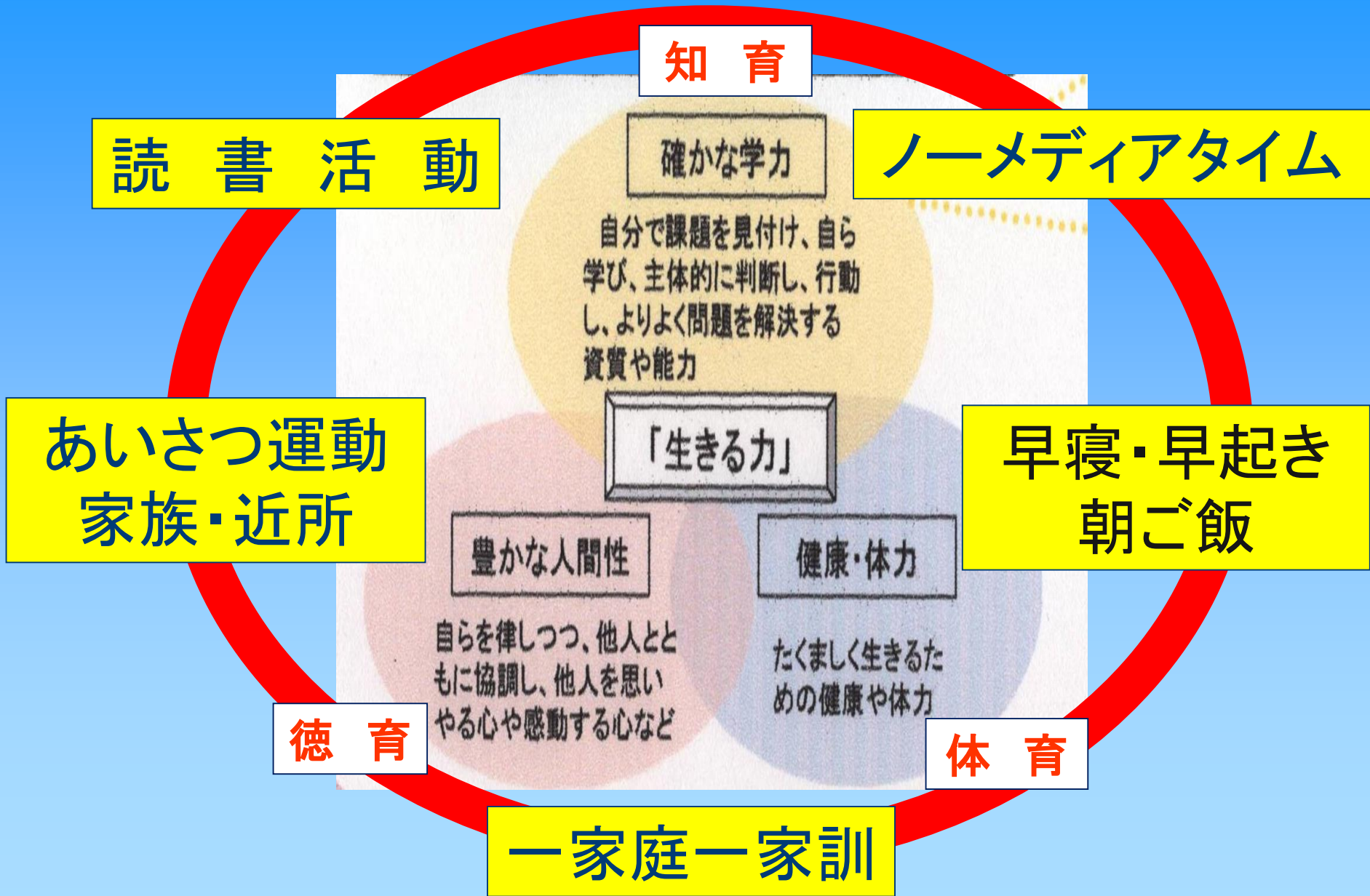
④PTA共通実践事項による  
実践化（家庭環境の改善）

→ノーメディアタイム

→早寝早起き朝ご飯

※PTA、学校保健委員会との連動

# 〇〇小中学校のPTA共通実践事項





# 家庭：共通実践事項設定の仕方(例)

※学年に応じて遅くとも午後10時までには就寝  
※午前6時から7時までの時間帯で起床時間を設定する。

児童氏名  年


① 進んであいさつ（学校・家庭・地域）をしよう。

② 一家庭一家訓（手伝い等）

③ ノーメデイアタイム（〇時～〇時・〇時間）

④ 読書活動（うち読二〇分）

⑤ 早寝・早起き・朝ご飯  
早寝  時・早起き  時



※曜日を限定せず毎日、継続して取り組めるように、時間帯（19:00～20:30）や時間（1時間30分）などで設定するようにする。

※家庭でのお手伝いを中心にルールやきまりなどを設定する。できるだけ肯定的な文で設定する。  
（例）「お風呂そうじを毎日する。」



# 家庭掲示用：共通実践事項設定の仕方（例）

- ① あいさつ（学校・家庭・地域）
  - ② 一家庭一家訓（手伝い等）
  - ③ ノーメディアタイム（〇時～〇時）
  - ④ 読書活動（うち読書二十分）
  - ⑤ 早寝・早起き・朝ご飯
- （早寝  時・早起き  時）



実効性があり、  
継続した取組に  
するために、

この用紙をテレビの横など、よく見えるところに掲示して、時間になったら保護者が子どもに声かけができる環境をつくる。

終